



まちづくりから
みらいづくりへ

Create the Future

経済・環境・社会の共生を目指して。



Sustainability Data Summary
2023

森トラストグループ
サステナビリティデータサマリー

トップコミットメント

環境だけでなく、経済・社会との共生を目指します

経済・環境・社会の共生を目指して

森トラストグループは、「わくわくするような未来の創造」を目指して、不動産事業・ホテル&リゾート事業・投資事業の3つの柱にとどまらず、様々な事業領域へと舞台を拡大させています。

その多くは人々の生活を創り出し、新たな時代のスタンダードを生み出していくものです。当社グループの長い歴史の中で築き上げてきた経験と、新時代創造に対する想いを掛け合わせ、環境への配慮と経済や社会の発展とが両立する社会の実現を目指してまいります。

まちづくりから 未来づくりへ

かつて当社グループの創始者、森泰吉郎は「17カ条」の経営理念を語っており、その中で「ビルづくり(単体開発)から街づくり(面的再開発)へ」の変革を掲げています。人々の生活を形作るまちづくりへの変革を経て、当社グループは時代に対応した新しい価値を生み出してきました。

このたび私たちは「まちづくりから 未来づくりへ」をスローガンとして掲げ、経済・環境・社会の共生を目指すフェーズへの変革を推し進めることで、さらに先の世界を創造してまいります。



森トラスト株式会社 代表取締役社長
伊達 美和子

サステナビリティの実現

サステナビリティの推進は、将来社会に起こりうるリスクを軽減することに加え、事業の拡大、ひいては経済の発展にもつながります。これを念頭に、安心・安全なまちづくり、環境への配慮、ウェルネスやダイバーシティなど、7つのテーマに沿って持続可能な社会を実現させてまいります。そのうちの一部は当社グループ自身をモデルケースとして体現し、社会への実装を推進いたします。

コーポレートスローガン

Create the Future

森トラストグループは、創業以来、先進技術やシステムを採用した大型複合開発をはじめ、日本初の法人会員制リゾートの創業、業界に先駆けた高級外資系ホテルの誘致、リート市場創設の提唱など、常に未来の社会を見据え、新たな商品・価値・ビジネスモデルを創造してまいりました。

2030年より先の社会——。

新しいテクノロジー、新しい形のコミュニティ、そしてそこから生まれる様々なシナジーをリアルとサイバーの両方で享受できる、ワクワクするような未来の創造を、森トラストグループは目指してまいります。

経営理念

会社は公の器である

社会に貢献することを理念に事業を推進させる

会社は社会とともに持続的である

ストラテジーを時代に合わせて変化させる

会社は戦略と戦術をもって事業を展開する

事業を水平垂直展開することで事業の相乗効果を狙う

サステナビリティ推進ビジョン

まちづくりから
未来づくりへ

Create the Future

経済・環境・社会の共生を目指して。

森トラストグループでは、コーポレートスローガンと3つの経営理念に基づき「森トラスト サステナビリティ推進ビジョン」を制定しています。

私たちはコーポレートスローガン「Create the Future」のもと
わくわくするような未来の創造を目指しています。

かつて私たちのミッションがビルづくりからまちづくりへ変わったように
新しい社会を作ることで、私たちもまた社会と共に変わります。

森トラストグループは「まちづくりから 未来づくりへ」をスローガンに、
環境だけでなく経済・社会との共生を目指します。

デジタルトランスフォーメーションや様々なイノベーションなど、今後も多様化する社会と共に、
私たちも大きく変わっていくことで、新しい社会の実現に貢献してまいります。

当社グループのサステナビリティ活動

概要

私たちは、「まちづくりから みらいづくりへ」をスローガンに経済・環境・社会の共生を目指し、森トラストグループにとって重要な領域である7つのテーマに沿って、SDGsの達成、ひいては持続可能な社会を実現させてまいります。従来より進めているまちづくり・地域活性化、企業としてのコンプライアンス・ガバナンス強化や多様性社会の実現に加え、テクノロジーなど産業・技術の発展や、世界的な感染症拡大を経た新しい時代を創るための重要な要素を組み込んでいます。

新たな価値・次世代型サービスの創出によって人々の豊かなライフスタイル実現に貢献していくことが「わくわくするような未来の創造」に繋がると私たちは考えます。



サステナビリティ推進体制

森トラストグループは、サステナビリティに関するガバナンス体制としてサステナビリティ推進委員会を設置しています。同委員会は当社グループを取り巻くESGの重要課題や推進方針についてグループ会社からの要請を踏まえながら議論するとともにその内容について取締役会に報告し、監督を受けています。



サステナビリティに関する取組目標

森トラストグループでは、サステナビリティに関する取組目標を設定しています。今後、環境だけにとどまらず、経済・社会との共生を目指した取り組みの深化を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

災害時に約1週間のBCP機能を備えたオフィスの整備	2025年までに24.2万㎡ ※2020年以降の整備面積累計
帰宅困難者スペースの整備	2025年までに4,500㎡ ※2020年以降の整備面積累計
ホテルの誘致による地域経済への貢献	新規プロジェクト16件
エネルギー消費原単位	年1%削減
CO2排出量	都条例に定められた削減義務率（3期：27%）を上回る削減率
事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー割合	2025年までに保有賃貸オフィスビルで100% ※期間限定運用ビル、小規模賃貸ビルを除き、当社が電力需給契約を行っている物件に限る
太陽光発電所をはじめとした再生可能エネルギー事業への投資	投資枠350億円
取水量の削減	前年度より削減 ※「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」において報告義務となる施設
廃棄物の削減	前年度より削減 ※各自治体の廃棄物の再利用・減量にかかる計画書を提出している施設
育児休業取得率	100%
有給休暇取得率	75%
建物設計へのロボットフレンドリー基準の反映とロボット導入推進	2027年までに22施設導入
新たなワークライフスタイル創出や、社会課題解決を目指すスタートアップ・ファンドへの投資	投資枠200億円 ※VC投資についてはコミットメント額ベース
人材育成研修・イベントの実施	毎年
DXに関する研修の受講率	2023年までに100%
健康診断/人間ドック受診率	100%
女性管理職比率	2030年度 10%
障がい者雇用率	2.3%以上

すべて森トラスト株式会社の数値

トップコミットメント

コーポレートスローガン
経営理念

サステナビリティ
推進ビジョン

森トラストグループの
サステナビリティ活動

サステナビリティに関する
取組目標

2022年度活動実績概要

サステナビリティ関連データ

2022年度活動実績概要

PICK UP



安心・安全なまちづくりと コミュニティ活性化

- ・地域防災やBCPの実現による、持続的に活動可能な場の創造
- ・新技術を用いた感染症対策等、時代のニーズに合わせた安心の提供
- ・様々な関係者と共に地域・社会の発展的成長を促進



地域に開かれたラウンジ空間の提供

東京ワールドゲートにおいて、地域とオフィスをつなぐコミュニティ空間「TOKYO WORLD GATE CoCo Lounge」を運営しています。
近隣に居住する外国人向けの生活サポートや訪日外国人への観光案内を行うコンシェルジュ機能、地方産業の発信・育成を支援する「CoCo JAPAN」としても貢献してまいります。

■ 利用実績:125,030人



エリアマネジメント活動による地域コミュニティの形成

地域の企業・団体と共に地域の魅力を発見し、磨き、発信するイベントを実施しています。
2022年度はコロナ禍からの経済・社会の回復傾向から、数年ぶりのイベントを実施したエリアもありました。

■ 2022年度イベント実施:15回



災害訓練による安全への備え

東京ワールドゲートをはじめとした複数のオフィスにおいて、災害時に約1週間の事業継続ができる機能を整備しています。
また震災訓練や災害時を想定したシミュレーションを行い、有事の際に備えてお客様の安心安全を確保する体制を保持しています。



お客様とともにつくるサステナビリティ

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する「熊野古道」の土の補充や清掃、浮石拾いなど修復を行う、保全活動「道普請」を行う宿泊プランを造成、販売いたしました。



PICK UP



サステナブルな 環境・社会の実現

- ・景観、生態系の保全や環境配慮の資源活用を通じたまちづくり
- ・再生可能エネルギーの使用・普及、および安定的供給の拡大
- ・様々なステークホルダーとの適切な協働



賃貸オフィスビルへの再生可能エネルギー電力の導入

丸の内トラストタワーや神谷町トラストタワーなど、計11棟の賃貸オフィスビルに再生可能エネルギー電力を導入致しました。

■ 進捗率:44.5%(2025年度までの賃貸オフィスビル(※詳細は取組目標参照)への導入率目標:100%)



賃貸ビルにおける環境認証の取得、緑地の整備

環境配慮のまちづくりを推進しています。2022年度は賃貸ビルへの環境認証の取得を推進したほか、東京ワールドゲート「葺城の森」が「第42回 緑の都市賞 都市緑化機構会長賞」を受賞いたしました。

■環境認証取得物件:3件(10 St. James:LEEDゴールド、75 Arlington:LEED(申請中)、601Massachusetts Avenue:LEEDゴールド)

東京ワールドゲートの外構には約5,500㎡の緑地空間「葺城の森」を整備しており、古くから敷地内に位置していた大クスノキの移植保全や、雨水循環利用によるビオトープの整備といった生物多様性の維持に取り組んでいます。

また、緑豊かな広場や園路にはテラスやベンチを設置するなど、自然の中で誰もが安全で快適に過ごせる環境を整えており、住まう人、訪れる人、働く人の往来とにぎわいを創出しています。



サステナブルな環境の実現に繋がるスタートアップ・ファンドへの投資や連携

自然エネルギーの爆発的普及の為に蓄電池製造及び提供を軸に事業展開する株式会社パワーエックスとの協業や、電動キックボードや電動アシスト自転車など「電動マイクロモビリティ」のシェアリングサービス「LUUP(ループ)」を展開する株式会社Luupへの追加出資を実施致しました。

- 株式会社パワーエックス
- 株式会社Luup

<https://power-x.jp/ja/>

<https://luup.sc/>

(参考)2023年度以降の取組







特定プラスチック使用量の削減

森トラスト・ホテルズ&リゾーツは、運営18ホテルで使われているホテルアメニティに含有する年間16トンのプラスチックを、2024年度を目途に15トン削減する取り組みを行っています。

- ① 木製や竹製、減プラスチック製品などに変更。
- ② アメニティをご持参いただく取り組みを実施。
- ③ 一部ホテルアメニティの無料設置を廃止。



PICK UP

 <p>ワーク/ライフスタイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスを向上させる施設・サービスの提供 ・新事業による生活多様性の創出 ・新たな働き方の実践および社会への提案・還元 	 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	 <p>12 つぎの世代 につぐ責任</p>
 <p>新時代創造・産業育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出資、パートナーシップを通じた産業育成 ・デジタルデータ、先端技術の活用によるサプライチェーンの最適化 ・自由な提案と実現を促進するグループ体制の構築 	 <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>	 <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>

職場環境に関する認証の取得

経済産業省および日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に4年連続で認定されました。
 また2015年に「くるみん認定」を取得していましたが、「子育てサポート企業」として高い水準の取り組みを行っていることが評価され、2022年8月1日付で新たに厚生労働省より「プラチナくるみん認定」を取得しました。



労働環境の向上

残業時間月平均30時間以内を徹底し、2022年度に達成いたしました。
 また有給休暇取得率82.8%、育児休業取得率71.4%、特に女性の育児休業取得率および復職率100%と、高い水準を維持しています。
 2023年の新本社への移転を経て、さらなる環境の向上を目指します。

ワークスペース管理ツール「WORK AGILE」を開発

働き方の変化に対応し、オフィスを最大限活用するためのワークスペース管理ツール「WORK AGILE」を開発しました。
 ワーカーのコミュニケーションの促進や有効利用されていないオフィス空間の可視化といった機能によって、新しい働き方の実現を目指す企業が持つ課題への解決策として提供しています。

▶ WORK AGILE <https://workagile.jp/>

W WORK AGILE



経済産業省による補助事業「令和4年度革新的ロボット研究 開発等基盤構築事業」に採択

森トラスト、ソフトバンクロボティクス、Octa Robotics、三菱HCキャピタルによる研究開発が経済産業省のロボットフレンドリーな環境構築支援事業に採択されました。
 4社は、あらゆる施設において サービスロボットのスムーズな運行を可能とする「ロボットフレンドリーな環境(サービスロボットを導入しやすい環境)」の構築に向けて、ホテルで実際に発生する複数の業務にロボットを実装することで、その効果や経済性の検証を行っていきます。



© SoftBank Robotics



© SoftBank Robotics

DX(デジタルトランスフォーメーション)アナリストの育成

DXによって継続的な経済発展と変化する社会課題の解決を両立することで、もっとわくわくするような未来の創造を目指し、「データ収集、蓄積、可視化・分析」ができる人財を育成しています。

■ 育成人数:27名











文化・産業発信に寄与する展示・販売

TOKYO WORLD GATE CoCo Lounge!において文化・産業の発展に寄与する展示・販売を行っています。

■ 2022年度活動実績:常設展示36週、企画展示10週

トップコミットメント	コーポレートスローガン 経営理念	サステナビリティ 推進ビジョン	森トラストグループの サステナビリティ活動	サステナビリティに関する 取組目標	2022年度活動実績概要	サステナビリティ関連データ
------------	---------------------	--------------------	--------------------------	----------------------	--------------	---------------

PICK UP

 <p>ウェルネス・健康促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の持続的な健康増進に寄与する場の提供 ・心も体も充足させる食や滞在機会の創出 ・社会全体での健康経営の実現 	 
 <p>ダイバーシティ (多様性社会の実現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流や多言語対応の促進 ・多様な人材が活躍できる経営基盤の確立 	  
 <p>コンプライアンス・ ガバナンスの継続的向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活性化に資するガバナンスの継続的な向上 ・持続可能な企業活動に資するリスクマネジメントの強化 	 

ウェルネス領域における事業の推進

健康や環境に配慮したランチボックスの開発販売や、当社保有の農園で収穫したハーブを用いたハーブティー販売を行っています。
その他、どこを触れても安心な空間の提供を目指し、室内環境の徹底的なクリーニングとそれを維持する施工をオフィス、ホテル、医療機関などに提供する「Pure wellness room」を、2022年度は20施設にご導入いただきました。



ホテル&リゾート事業においても、専門家監修のもとで体に優しい食事や酵素ドリンク、運動メニューや学びを組み込んだ宿泊プラン「BIWAKO RESORT FASTING」など様々な健康志向の取組を実施しています。



生活コンシェルジュによる外国人居住者サポート

TOKYO WORLD GATE CoCo Loungeにおいて外国人居住者サポートのコンシェルジュ対応を行っています。

■ 2022年度対応実績:1099件

多様な人財の成長促進

多様な人財のさらなる活躍を引き出す制度・支援策の整備と共に、多様性を受け入れ、尊重する風土・文化の醸成に取り組んでいます。
この中で、女性従業員比率の目標達成を3年前倒しで達成いたしました。
また、新卒採用における留学生採用、インバウンソン人材の採用を実施しているほか、キャリア採用においてカムバック採用・リファラル採用を実施しています。

■ 女性従業員比率(森トラスト):27.1%(2025年度までの目標:25%)

※森トラストは、厚生労働省より、女性の活躍促進に関する状況などが優良な事業主に与えられる認定制度「えるほし認定」を取得しています



ガバナンスの継続的な向上とリスクマネジメントの強化

森トラストグループとしての遵法性、リスクマネジメントを向上させるため、グループ法務ミーティングを2022年度より開始しました。また、情報漏洩に対する管理意識向上のため、危機管理対応シミュレーションを2022年度より開始しました。

■ グループ法務ミーティング:4回開催
■ 危機管理対応シミュレーション:1回開催

トップコミットメント

コーポレートスローガン
経営理念

サステナビリティ
推進ビジョン

森トラストグループの
サステナビリティ活動

サステナビリティに関する
取組目標

2022年度活動実績概要

サステナビリティ関連データ

サステナビリティ関連データ

トップコミットメント	コーポレートスローガン 経営理念	サステナビリティ 推進ビジョン	森トラストグループの サステナビリティ活動	サステナビリティに関する 取組目標	2022年度活動実績概要	サステナビリティ関連データ
------------	---------------------	--------------------	--------------------------	----------------------	--------------	---------------

安心・安全なまちづくりと コミュニティ活性化	サステナブルな 環境・社会の実現	新たなワーク・ ライフスタイルの提案	新時代創造・ 産業育成	ウェルネス・ 健康促進	ダイバーシティ (多様性社会の実現)	コンプライアンス・ ガバナンスの継続的向上
---------------------------	---------------------	-----------------------	----------------	----------------	-----------------------	--------------------------

取組目標		達成時期	数値目標	数値の区分	2021年度	2022年度
1	災害時に約1週間のBCP機能を備えたオフィスの整備	2025年	24.2万㎡	2020年以降の整備面積 累計	10.8万㎡	10.8万㎡
	帰宅困難者スペースの整備	2025年	4,500㎡	2020年以降の整備面積 累計	2,500㎡	2,500㎡
	ホテルの誘致による地域経済への貢献	—	新規プロジェクト16件	—	開業ホテルなし	開業ホテルなし
2	エネルギー消費原単位	毎年	▲1%	削減率	+5.7%	— ※
				原油換算量	45,962kL	— ※
				原油単位面積	1,392,315㎡	— ※
				エネルギー消費原単位	0.03301kL/㎡	— ※
	CO2排出量	—	都条例に定められた削減義務率（第3計画期間 96,348t-CO2を27%削減）を上回る削減率	削減率(都内)	▲49%	— ※
				基準排出量(都内)	96,348t-CO2	— ※
事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー割合（保有賃貸オフィスビル） ※期間限定運用ビル、小規模賃貸ビルを除き、当社が電力需給契約を行っている物件に限る	2025年	100%	排出量(都内)	48,898t-CO2	— ※	
			排出量(全国)	84,739t-CO2	— ※	
太陽光発電所をはじめとした再生可能エネルギー事業への投資	—	350億円	累計	55.8億円	55.8億円	
取水量の削減 ※「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」において報告義務となる施設	毎年	前年比減（原単位）	水取水量	581,447㎡	— ※	
			原単位分母	1,219,237㎡	— ※	
			取水量原単位	0.477㎡/㎡	— ※	
廃棄物の削減 ※各自自治体の廃棄物の再利用・減量にかかる計画書を提出している施設	毎年	前年比減（原単位）	廃棄物	2,780t	— ※	
			原単位分母	1,215,795㎡	— ※	
			廃棄物原単位	0.0023t/㎡	— ※	
育児休業取得率	毎年	100%	男性	88.9%	55.6%	
			女性	100.0%	100.0%	
			合算	90.0%	71.4%	
有給休暇取得率	毎年	75%	—	79.1%	82.8%	
建物設計へのロボットフレンドリー基準の反映とロボット導入推進	2027年	22施設	累計	1施設	2施設	
新たなワークライフスタイル創出や、 社会課題解決を目指すスタートアップ・ファンドへの投資 ※VC投資についてはコミットメント額ベース	—	200億円	累計	129.3億円	143.5億円	
人財育成研修・イベントの実施	毎年	実施	—	実施	実施	
DXに関する研修の受講率	2023年	100%	—	6.5%	13.3%	
健康診断/人間ドック受診率	毎年	100%	—	96.0%	99.2%	
女性管理職比率	2030年度	10%	—	6.8%	6.6%	
障がい者雇用率	毎年	2.3%以上	—	1.3%	1.4%	

すべて森トラスト株式会社の数値
(※：数値確定次第、更新いたします)

